

5th Reunion 02



DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

MISOKA FUMIZUKI

◇ 文月晦日 ◇

Circle rukiruki-EXISS Presents

FF 嬲reunion02



アバランチ時代にうまれた多額の借金の請求を迫られた私は
あの若い男に言われるまま
皆に内緒の『副業』をする事で返済しようと
蜂蜜の館へと赴く

付いた早々オーナーの部屋行くよう言われる
どうやら接客に入る前にオーナー直々の指導があるらしい

指導…と言えば聴こえは良いが何の事はない

ただの…『新人の味見』だ



あの…
一応言われた通りの
の衣装で来ました
けど…

これで良かった
でしょうか？

うんうんそれぞれ
いいよいいよお
やっぱティファちゃんは
その衣装が良く似合う
よお



…あの日以来
結局 借金返済の
目処が立たないまま
『蜜蜂の館』の門を
叩く事となった



いやいやティファちゃん
待ってたよお
おじさん待ちきれなくて
服全部脱いじゃったあ



…すみません

この男 以前から頻繁に
「センブンスヘヴン」に来て
いた常連だった
どうやら蜜蜂の館の新しい
主人らしい

今日は面接って事に
なってるけど おじさん
ティファちゃんの事は
セブンスヘヴンで見
たし

即採用でもいいんだ
けどねえ
他の子達への示しも
あるし

…はあ

で何か試験の
ようなモノでも？

実際にお店で
働く前に私が
チエツクする
…ただそれだけ
の事だよお

きやつ

それにこの引き
締まった肉感
見ると触るとでは
大違いだ

こつちも
良い臭いを
させてますねえ







身体力が抜けていく
：バラバラにでも
されるんだらうか？
借金が膨大すぎて
別の意味で身体を売る
ハメに？

はっ

はっ

はっ

……やっぱパレットにしとこ
しつ…死んだら真っ先に
クラウドの所に化けて
出てやるんだからっ！



いっ…
今何を！

何を
飲ませた
のよっ！



怖がらなくて
いんだよお

今からするお注射
の痛みを和らげる
ちよっとした
麻酔さあ



実はおじさん
こう見えても昔は神羅の
薬学部門の主任でねえ
色々なクスリを調査
しては実験して
たんだよお



最近は普通のセックスじゃ物足りないってセレブが多くてねえ

コトッ

そんな需要に对应して一時的に肉体を改造する薬を研究してたんだよ



ゲホッ

ぜっ

ビクン

はっ

うくっ

ビクン

ぜっ

ビクン

死んだりほしくないよ
むしろ痛みの後に
来るのは
未知の快楽さ♪



んなっ!

ばいん

10

ぶっ



胸が…
…苦しい

ギリ

はっ

キ

はっ

うっ

キ

はっ

…何かが
何か体内から
込み上げて来る!

胸が…こんな…
しかも身体全体が…
神経全体がどんどん
研ぎ澄まされて行くの
がわかる…！

ほあ

ほあ

ほあ

それに下半身が…
アソコが燃えるように
…熱い！

ムクッ ムクッ

ビクッ



…っ！
何これ？

いやあああ
あああああ
あああああ

んっ

んっ

どうだい
ティファちゃん
未知の快樂の味は

ひゃふ

おちんぼシコシコ
されるのって気持ち
良いだろう？

身体全体が性感帯の
塊と化し 更に未知の
快樂を得た私は
拒みつつも溺れていく
のがわかった

肥大化した胸と
おしりと
おまんこと
おちんちんと…

ふあ

ひゃべう

ギン

それぞれが
それぞれの絶頂を迎え
その度に気絶をしそうになる
まさに『絶頂スパイラル』





ひゃあああああ！
 いくつ！
 全部イクら
 ううううう
 ううううう

次は何処なの？
 もう何処がイクのか
 わからないよう！

ブイーン



わずか三十分ほどで
 効果の切れたこの快楽を
 忘れられず 私は
 この日からほぼ毎日の
 ようにセレブたちの
 相手をする事になる

ひ・ち・い

借金返済は
 始まったばかりだ

あひや



いらっしやいませ〜♪

此処は六番街スラムの
ウォールマーケットに
店を構える
『蜜蜂の館2号店』

普段 神羅で運輸事業に
携わっているボクは今日
ある目的を達成する為に
この店を訪れた



お客さま
当店は初めて
ですか？

どの子に
なさいます？

その目的とは

彼女に…



筆下ろしをお願いする事

彼女がこの店で働いているという情報は職場の同僚からだった

情報に半信半疑ではあったもの
…まさか本当にこの店で会えるとは

ボクは以前から『セブンスヘブン』のティファを知っていた

仕事が休みの日に七番街スラムまで足を運びそこで何度か酒を飲んだ事もある

お客様：
此方になります

完全に一目惚れ
だった…

蜜蜂の館ではクラウディアと言う源氏名らしい

どんな理由でココで副業をしているのかといった謎にも興味はあったが…
それ以上に25年間彼女のいない僕にはその『初めて』を捧げる絶好の相手が見つかって喜びで一杯だった



おちんぼに一杯チンカスが溜まっていますよ綺麗にあげますね♪



初めてである事を伝えるとティファは優しく微笑んで丁寧に『仕事を』始めた

あつ…まだそんなに激しくシコシコしない



ちんぼにキンタマ更にはアナルまで彼女の徹底された舌技には一切の手抜きが無かった

あつ

ウホッ



そして彼女の口蓋垂にまで達するディープスロットは仮性包茎のボクのちんぼを何度も絶頂に誘いそうになった

んっ

んっ

んっ

んっ



過剰に反応する
ボクのちんぽから
少しでも意識を
遠ざける為に

ティファの
おまんこに
むしやぶり付く

はじめての
女性器…!

ひあッ

しゃッ

しゃッ

そんなに
ちゅぽちゅぽ
しちゃ

いやあ

それが憧れの女性で
あればこれほど
最高の筆下ろしは無い

お客さまッ

ギン

ギン

わっ
わたし

気持ち
良くて

腰が勝手に

ギン

ドゥ

ドゥ

ドゥ



股を開き
おまんこを指で
広げながら

腰をクネらせ
おねだりを
する
ティファに

私の…
おまんこに

お客さまのぶっとい
おまんぼっ

お客さまのぶっとい
おまんぼっ

ついに…!

はっ…
ふあああ

ボクの初めてが…!!



激しっ…!

もっ
と
激しっ

頭が真っ白に
なりながらも

おまんこっ

ただひたすらに
力強く
腰を振った

掻き
まわ
つ
てえ!

…情けない事に

今までの
我慢が嘘のように

わずか25秒で
力尽きた



たぶん...

それから1週間
ボクは蜜蜂の館に
通い続けた

仕事がある日も
片道1時間の道程も
まったく苦には
ならなかった

そして1週間目のその日
店の入り口に居た厳つい男に
裏メニューである
ティファの衣装オプシヨンの
存在を覚えてもらう



あっ

ム

ム

ム

ム

この1週間でSEXが
上達したと自負して
いたボクは

お客さま
そろそろ
私か...

衣装の興奮も相俟って
最初から激しく指で
責め立てた

んっ

ム

ム

ム

はう あんっ
あっ ああっ!



裏メニュー...
それは紛れも無く

モッ

モッ

セブンスへブンで見た
あの衣装だった



彼女の反応が
いつもと違う事に
気付かないまま...

あっ

ふあ

また
噴いちゃう

ム

ひぎっ
やあああっ

びゅる

ム

ム

ム

ム

びゅ

何度も

何度も

ちよっ

は、びん

やめっ

もう

やだっ
やああ
ああ

ムムム

お客さ

はっ

びん

ティファが
絶頂と共に大量の
潮を噴く事に悦を
感じていた

ちやぶ

ちやぶ

ちやぶ

ちやぶ

あ

そこは

やめてって

言ってる
のにつ

また

噴いちやう
からああ

ムム

ムム

ムム

びや

びや

ズ

ズン

ズン

びん



避妊具を
着けないまま

ゴムを
まっつて

びん



幾度の絶頂で
抗う力を無くして
いたティファに



興奮で我を
忘れたボクは

ほ

ほ



挿入!

ふひい



出来ちゃう
からあああ

あがっ
あがちゃん
っが

らめえ



着け

てえ

ズッ

ぬ

ズッ

ズッ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ



そのまま

どくん
どくん
って

中に...

熱いのが

膣内に

わらひの
おまんこに
おまんの
うてるう
うてるう
うてるう

ドクン

数分後 何も言わず
黙って部屋を
出て行ってしまった



射精後しばらく
痙攣を繰り返した
彼女は

ドクン

興奮が収まり
冷静に自分のした行為を
振り返ったボクは後悔と
自責の念にとらわれた
……が
完全に後の祭りだった

部屋を出ようとしたボクを
黒服を着た体格の良い
お兄さん達が取り囲む

ボクは顔の原形を
留めない程に
ポッコポッコに殴られ
有り金を全て
巻き上げられて
しまった



あれから半年

でかっ

今日は副業初の
出張の日です

はな...

ア

「この『でりる』
って言うんだっけ？」

すいませーん
蜜蜂の館から派遣された
者ですけどー

クラウドのやってるデリバリー
とは全然違うけど...
いつもの3倍のお金が出るって
聞いたから迷わずOKした

ザッ

中に入るとすぐに年老いた執事の人
が現れ この大きな屋敷の主の
もとへ案内してくれた

えっと・・・
これでよろしかった
でしょうか？

ババァ

挨拶を適当に済ませ
私は指定のあった
『いつものコスチューム』を
披露する

ん？結構結構
噂に聞いていた以上
じゃないか・・・なあ？

ニヤ
ニヤ

左様で
ハイハイです

よし！
早速楽ませて頂こう



それ以外は至って普通
みただし：
今日の仕事は簡単に
済むかも

ムニッ

ムニッ

はっ!

ああん

井

ああん

やあっ



おい
腰を持ち上げて
抑えている

あ

かしこまりました



金持ち特有の
見下した視線は
気になったけど

ちゅっ

ギッ



最初は『フェラチオ』
男性器を上から下まで
丁寧に愛撫 刺激しつづ
男の優越感をも刺激する





んがごじゅん
んぼんぐぐぐ

ひゅんぐぐぐぐぐ
うんぐぐぐぐぐ



大抵の場合
刺激が強すぎて
権力者の本性が
剥き出しになる

ああーごじゅん
のんぐぐぐぐぐぐぐぐ

ぐぐぐ

んぐぐぐ

ちゅん

ちゅん

もっと激しく！
根元までしゃぶるん
だよ！

んぐ



目で懇願しつ
震えながらも
美味しそうに飲み込む

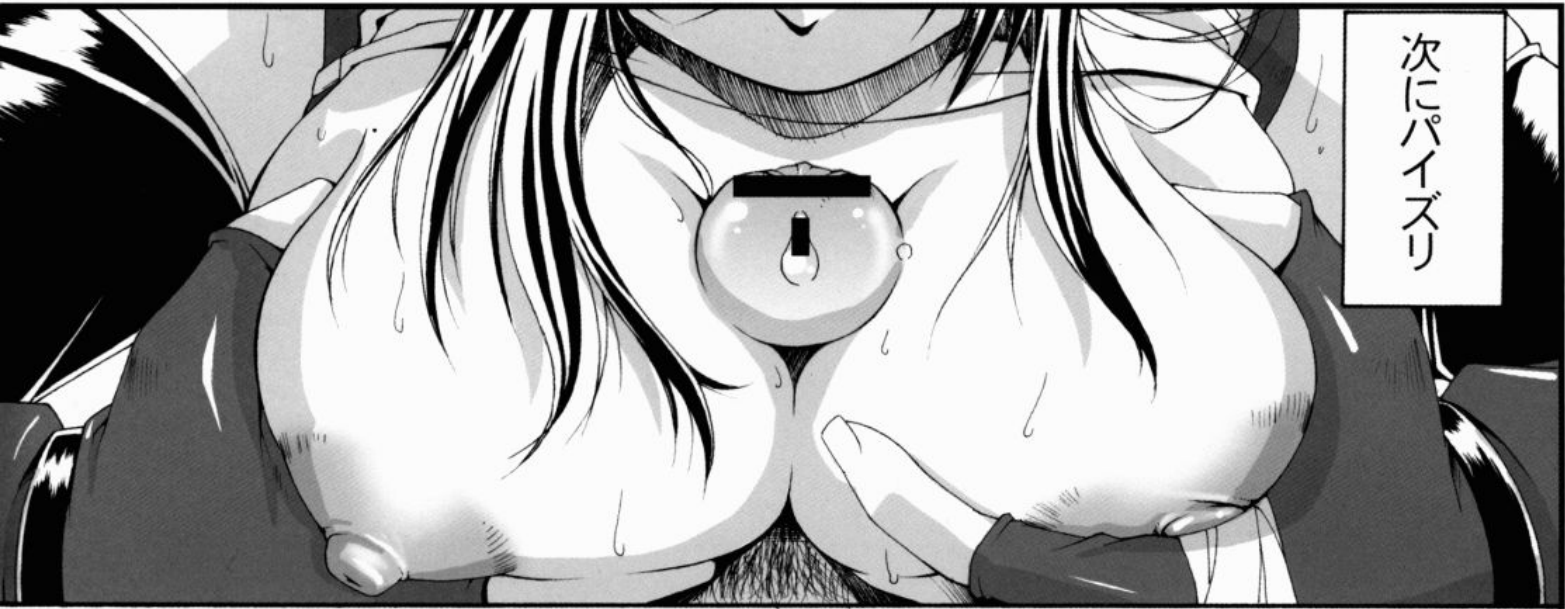
何度飲んでも
美味しいと感じた事は
一度も無いけど...



ゆっくり転がすんだ

ふっふっ よおし
おめでとうだ

次にパイズリ





今度はこっちが
動いてあげよう



え？ あっ…
おっぱいの間から

おちんちんが…
出たり…入ったり
…してます

パイズリも自分で『する』のと
『される』のでは違っている
馬乗りになって『される』のは
おっぱいを犯されてる気分になる

凄く気持ち良いから
もう回復しちゃった
そろそろティファちゃんの
中に入っちゃおうかな



おおお
膣内も最高に具合
が良いよ

うああ

はっ
ああ



さあいくよ

ぬぶっ

言葉で相手を喜ばせつつ
相手のおちんちんを休まず
ぎゅぎゅに締め付ける
…大抵のセレブはこれで
5分と持たない



あ…すっこ
締め付けて…くっ

あっ！
気持ちっ

あっ
あっ

いっすっ
かっ？

ツッ

ツッ



ふあ
ああ

ブクッ

あっしう
あああ



もう…
我慢できんっ！
膣内です！

あっしう
まっしう！

最後はお口で
しまさかひめー！

避妊具を着けないで膣内
射精するのもセレフの
スアータス…らしい



このまま膣内で
犯り続けて
完璧に受精
させちゃおうかな

ムムッ

知

毛ミッ

毛ミッ

い...
う...
う...
う...



えっ？

まだ...
するの...？

ムムッ

毛ミッ

毛ミッ

毛ミッ

一回し
休ませてえ

ふひひっ ポクの
精液でぬるぬるの
ぐちよぐちよだあ

赤ちゃん
出来ちゃうかなあ？



あゝく
うんうん

おしりの穴で
いくうんうん
うんうんうん
うんうんうん！

この館の主のタフさには
少し驚いたけどそれでも
想定範囲だった
…もうじき終わると

はぁ
しかし本当の宴は
これからだった

— 満足した主人はその晩、私をディナーに招待してくれた。

予め今日はお店を休みにしていたのだけれど
マリン達のことにも心配だし、出来る事なら
さっさと帰ってしまいたかった。

どうしてもと誘う主人の嘆願に
多額の報酬故に今後もお世話になりえるお客に対して
無碍にも出来まいと、仕方なく夕食をご馳走になる。

豪華なご馳走とおいしいワインがほんのり心地よく
ひと時の幸福を得た気がした。

それでもどこかにクラウドや孤児達への後ろめたい気持ちが
酔いを急速に醒ませてしまう。

・・・そう。酔ってはいないはずだった。
そろそろ帰ろうかと席を発とうとした瞬間
目の前が一瞬真っ白になり
私はそのまま気をうしなってしまった。

薄暗い部屋で手足を縛られ
下着を剥がされ 性器を
剥き出しにした状態で
私は目を覚ました

…っえ？
あッコレは！

ヤッ

おはよう
気分はどうだい？
ティファちゃん

早速で申し訳無いんだ
けどこれから もうひと
仕事してもらおうよ

なんでも
もう依頼分は
働いたハズじゃう

きゅ

今回は多数ゲストも
用意したよ

せめて縄を解いて
…ちょ
あれ何なのよ！

セレブの中には
普通の晚餐に飽きた
人種もいてね

ガッ

ご主人様

よろしい
ですか？

そう言うのやってないっ
放して！ いやあ！



力をお抜き
ください

やっであっ
ちよう
ダメえ

ガッ
ガッ

お願いです
やめさせてください



それでは
参りますよ

ガッ
ガッ



あじい

くう

ガッ
ガッ



んん

ガッ
ガッ

んあああ
入って...くるう



いっばい出したまえ



— 最後の籬が外れてしまった気がする。

今では当たり前となっていたフェラやパイズリやごっくん。

膣内射精もアナルセックスも気にしなかった。

でも人前で糞尿を垂れ流す行為だけはどんな事があっても
するまいと決めていたのに。

崩れかけの羞恥心の籬までが外されてしまった。

美味そうに私が出したモノを口に頬張りながら主人は
ひとつの提案をする。

蜂蜜の館を辞めこの館の『専属娼婦』となる話だった。

もはや失うものの無い私は更なる多額の報酬を求め
この館の主を自らの新たな雇い主とした。

これからは主と、その客を喜ばせる日々が始まるのだ・・・



主の招く客の中には
セブンスヘブンの常連
も何人か居た



ティファたんの
おっぱいとおお

主は私が複数の男達に
輪姦される姿を好んでくれた

ティファたんの
おまんこもおお



ティファたあん
今日はいっぱい
楽しませてねえ



おまんこ



蜜蜂の館で支給された
避妊薬はもう無い
しかし主の客はそんな事
構わずに膣内射精する

今日もなかだし
OKだよな?

昨日は...
たしか10回かな
一昨日は多すぎて
数え切れなかった



どんどん精液
湧き出てくる

あぁ...

借金の事は
日に日に記憶から
薄れていった



何度も射精され
何度もイカされ

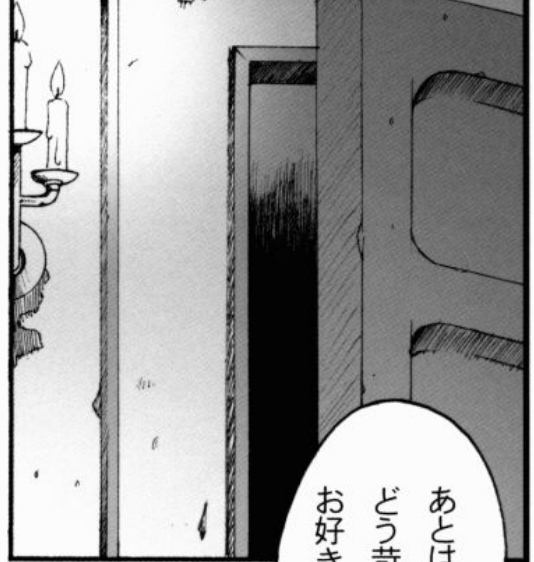


あくアティファたん
飲まないでタメじゃ
ないかあ

おいティファ
いつまで寝てるんだ
次のお客様だぞ



んっふふふふ
ええええ あの薬
投与済みですよ



あとほそちうで
どう苛めるか
お好きなように



さあ ティファ
次のご主人様に
ご挨拶下さい

借金を払い終わったら
私には何か残るだろうか…
こんな私を『約束の地』はまだ
向かい入れてくれるだろうか…

…よろしく
お願いします

私でいいかい
射精してくださいね



■ FF 野 reunion02 ■





場所は廃線
本来は使われて
いない鉄道の駅



えーッて

指定されたホームへ行き
指定された場所で
クライアントを待てば良い
って聞いたけど…



…にしても
セレブの道楽で動く
電車だなんて…
お金…有る所には
有るんだね



まもなく
3番線ホームより
電車が…

ふう

今日は久しぶりの
出張サービスのお
仕事です



ズイ

ザッ

かかー

あ……
……
来た

かかー



『フレイ』の場である
走る電車の中で
痴漢を強要される
...まあそれだけじゃ
済まないだろうけど

でもまさか
クライアントが
複数人だとは思わな
かったなあ...



やる事は
至って簡単



...まさか
この車両全員
と.....?

とにかく私は
指示通り
痴漢された「フリ」
を続ける



ふひよひよ
ソコソコ

客の1人が私の
胸を露出する
のを合図に...

玉も竿も
しっぺり
ねぶってえ



ポクはお口で
お願いね

痴漢フレイ自体
さほどの時間は
要さなかった

はい



もう おちんちん
我慢できないよお

ハイズリして
ハイズリ



はひっ
はひっ
ふお
うふあ

いつも通りの乱交

すぐにこうなるなら
場所は別にココじゃ
なくても良い気がする
するんだけど...

ほひーほひー
ワキズリたまんね!
ティファたん最高!

ねー早く
変わってよお

ズホッ



面白い位 素直に
みんな真剣な顔で
私に挿入し始めた



本当は早く済ませて
帰りたかったんだけど
中々挿入しようとしな
くないアアントに

は…早く
ティファの
おマンコで…

ぐちよぐちよに
なったティファの
汚れたおマンコを

お客様の精液で
洗い清めて下さい

喜びそうな卑猥な単語を
ずらりと並べて
『おねだり』をして
催促すると

カタン

カタン

結局この車両の
全員を相手に

体とスキル
全てを使って

ティファたん
出すよ！

せーえき♪
せーえき♪
せーえき♪

もっとせーえき
ぶっかけてえ♪

終点まで
ご奉仕した

ぬほっ
ぬほっ
ぬほっ

客は満足そうに
私に笑みを見せ
電車を後にした

私の借金返済の
旅には終着駅が
存在するの
だろうか

はあ

はあ

……
はあ

はあ

○月×日

今日はセブンスヘブン
貸切の『特別日』です

本当は自分のお店で
こんな事したくないんだけど
どうも常連客たちは私が日常を
過ごすこの場所でのプレイが
以前からの夢だったらしい



がしっ

ふあ

ふ

ぷりん

ら

幸いバレットは
マリンを連れて旅行中
クラウドは…
いつも通り居ない



おひゃ…
おひやくさま
今日はいいばい

プレイ前に大量のお酒を
飲まれた私は接客も
ままならない状態で
衣服を剥ぎ取られる

ク

クイッ

ぷりん

ていふあの身体を
可愛がつて
くらふあい

お酒で意識の
朦朧とした私を
お客様は代わる代わる
様々な体位で犯し始める

ズッ

あっ

ずっちゅ

んあ 激しっ
ていふあの…
ていふあのおまんこで
いっぱい精液出してえ

ずっちゅ

ちやぶ

ズッ

ひひっ
わかってるよお
今日の為に1週間
オナ禁してるよお

ズッ

ふっ

ムッ

身体が自由が利かない
私に出来る事は
淫猥な喘ぎ声をあげて
お客様の満足度を高める
くらいだ

ひっ

ケツまんこお良いよお
もっとしてえ
ガバガバになるまでっ

ひっ

おほん

ふっ

使える「部位」を
次々塞いでいき

だ

ズッ

ズッ

中だるうが外だるうが
所構わず射精を繰り返す

はひっ

ティファちゃんっ
精液っ 全部っ
全部飲んでっ!

— 2時間後

全身をドロドロにされた
状態で大量の精液の入った
ジョッキを手渡された私は

すべるま…
おいしい…れす

おまんこも
あなるも

恍惚とした表情で
全て飲み干した

すべるまで
いっぱいあい



← || to be continued

すいません。
次こそ完全な形で出します。



このまま
でいいから
早く
出したい

DD

うん

3/20



FF 嬢 reunion 02



行 / るきるきEXISS

文月晦日

/ 2010/12/31

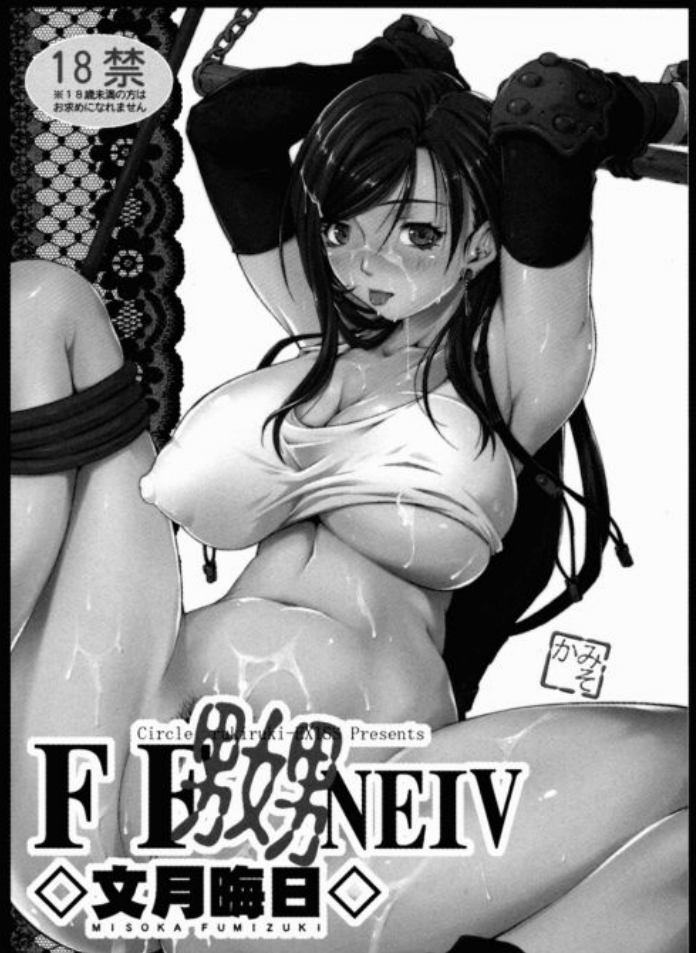
行 / 有限会社トム出版

※無断転載、複製、データ化の禁止

※18歳未満の購入、閲覧禁止

<http://misoka.net>

mail: popjam99@hotmail.com





Circle rukiruki-EXISS Presents

FF 野男 reunion 02

◇ 文月晦日 ◇
MISOKA FUMIZUKI

